

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

研究課題名 『大腸癌における閉塞環境が、がんの進展に与える影響:臨床的及び病理組織学的視点からの検討』

研究機関名 東邦大学医療センター大森病院

研究責任者 一般・消化器外科 科 **職位・氏名** 助教 吉田 公彦

【研究の目的】

腸閉塞で発症する大腸癌(閉塞性大腸癌)は全大腸癌の 9.0-17.8%に認められるとされ、日常診療でも遭遇する頻度の高い疾患です。現在の大腸癌治療ガイドラインでは、閉塞性大腸癌は根治手術施行後の再発リスクの一因と位置づけられていますが、その詳細な腫瘍学的理由については報告が限られています。そこで、東邦大学医療センター大森病院 一般・消化器外科では、閉塞性大腸癌による臨床的および腫瘍学的影響を検討することを目的として本研究を計画しました。

この研究で得られる成果は、今後のより良い閉塞性大腸癌治療につながります。

【研究対象および方法】

この研究は、(東邦大学医療センター大森病院)倫理委員会の承認を得て実施するものです。

対象者:2000年12月～2020年12月までに東邦大学医療センター大森病院

一般・消化器外科において、閉塞性大腸癌の手術を受けた症例(約200)例、および非閉塞性大腸癌の手術を受けた方(約50例)を対象とします。

方 法:診療録から抽出したデータ、及び切除検体の病理切片等解析をします。

【研究に用いられる試料・情報】

試料:手術で摘出した組織

情報:病歴、診療の治療歴等

【外部への試料・情報の提供】

外部への試料・情報の提供はありません。

【研究組織】

代表施設名:東邦大学医療センター大森病院 一般・消化器外科

研究代表医師:吉田 公彦

役職:助教

【個人情報について】

研究に利用する情報は、患者様のお名前、住所など、個人を特定できる個人情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報を利用することはありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報等を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大森病院 一般・消化器外科

職位・氏名 助教 吉田 公彦

電話 03-3762-4151 内線 6530